

科 目	必・選	担 当 教 員	学年・学科	単位数	授 業 形 態							
都市環境工学 (Urban Environmental Engineering)	選	靄巻 峰夫	4 年生 環境都市工学科	学修単位 1	半期 週 2 時間							
授業概要	都市域における環境問題の環境問題とその現状と対策技術を学ぶ。											
到達目標	①都市における環境問題の種類と現象を理解する。(C-1) ②主要な都市環境問題の対策技術を理解する。(C-1) ③初歩的な数値予測手法を理解する。(C-1)											
評価方法	定期試験の結果60%， 演習の提出状況・内容を40%で評価する。											
教科書等	[教科書]羽田・江成著「環境工学」森北出版											
内 容	(15週間で授業を18回実施する。なお、1回の自宅演習は200分を目処にする。)				学習・教育目標							
第 1 回	オリエンテーション (地球環境問題と地域・都市環境問題)			(自宅演習)	C-1 (c)							
第 2 回	地球環境問題 (1)			(自宅演習)	C-1 (c)							
第 3 回	地球環境問題 (2)			(自宅演習)	C-1 (c)							
第 4 回	都市大気汚染 (1) : 汚染物質, 発生源, 対策			(自宅演習)	C-1 (c)							
第 5 回	都市大気汚染 (2) : 大気拡散			(自宅演習)	C-1 (c)							
第 6 回	ヒートアイランド			(自宅演習)	C-1 (c)							
第 7 回	土壌汚染			(自宅演習)	C-1 (c)							
第 8 回	騒音・振動			(自宅演習)	C-1 (c)							
第 9 回				(自宅演習)								
第10回				(自宅演習)								
第11回				(自宅演習)								
第12回				(自宅演習)								
第13回				(自宅演習)								
第14回				(自宅演習)								
第15回				(自宅演習)								
第16回				(自宅演習)								
第17回				(自宅演習)								
第18回				(自宅演習)								
(特記事項)		JABEEとの関連										
		JABEE	a	b	c	d1	d2a) d)	d2b) c)	e	f	g	h
		本校の学習・教育目標	A	A	C-1	C-1	C-2	B	B	D	C-3	B
				◎								

1. 合格ラインについて、特に記載の無いものは、60点以上を合格とします。

2. 定期試験について、特に記載の無いものは、評価配分を均等とします。(【例】年4回定期試験を実施した場合の各定期試験の評価配分は、特に記載の無いものは、25%ずつとなります。)

## 都市環境工学 4学年

### 地球環境問題と地域・都市環境問題（第1週）

オリエンテーションを兼ねて、本講義で対象とする

### 地球環境問題（第2-3週）

地球環境問題とその原因，影響と対策について学習する。

### 大気汚染（第4-5週）

大気汚染問題について工場の排煙、自動車排出ガスなど排出源別に、汚染物質や現象・被害を理解した上で、対策技術と対策のための予測手法について学習する。

### ヒートアイランド（第6週）

ヒートアイランドの現象とエネルギー問題との関連及び生活環境への影響について学習する。

### 土壌汚染（第7週）

土壌汚染問題の発生原因や発生源、原因物質と被害を理解した上で、対策技術について学習する。

### 騒音・振動（第8週）

騒音・振動の発生源と被害を理解した上で、対策技術と予測技術について学習する。